

BIZEN CITY
Community Development

基本計画



政策 1 | 教育・文化

誰もがいつまでも
成長し続け、輝けるまち

政策の目標

各政策（各分野）が目指すまちの姿を示しています。

政策の目標

主体的に、学び、成長し続けることができる環境を整え、まちの伝統、歴史・文化を継承し、郷土愛を深め、心豊かにいつまでも住み続けたいまちを目指します。

政策の現状と課題

政策の現状と課題

各政策（各分野）の現状と課題について、国や県の動向や市を取り巻く環境の変化を踏まえて記載しています。また、市として特に重要な課題を整理しています。

価値観が多様化し複雑化する社会において、市民自らが問題意識を持って、人と関わりながら協働して学習に取り組めるようにすることが大切です。そのためには、市民一人ひとりがまちづくりの主体者として、課題解決に取り組むことを支える学びの環境づくりが重要となります。そして、学びが知識を実践していくことにより学びの価値を高め、自己を磨くことにより、人生を豊かなものにすることがあります。

子どもたちが生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担っています。学びの接続が組織的に行われるよう、認定こども園・保育園・小学校の積極的な

予測困難な時代を生きる子どもたちに、社会の変化に対応できる「生きる力」を身に付けさせることが求められています。

市の貴重な財産である備前焼や旧閑谷学校をはじめとした地域文化資源を大引き継いでいく必要があります。あわせてその魅力を市内外へ情報発信し、広く、魅力あるまちづくりにつなげていかなければなりません。また、ゆとりとうる心豊かな生活を実現するため、芸術、文化に親しむことができる機会や場所づくりが必要です。

ソフト面では、市民誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりと、スポーツの魅力を活かした地域の活性化が求められています。

ハード面では、人口減少、少子高齢化が進む中、学校施設や公民館、文化・スポーツ施設等教育関係施設の適正化や老朽化への対応が重要な課題となっています。

市の政策推進において
特に重要な課題

- 市民の主体的な学びの推進
- 将来を担う子どもたちの「学ぶ喜び」と「学ぶ意欲」、「協働する力」の育成
- 歴史・文化の保存と活用による郷土愛の醸成と効果的な情報発信
- 生涯スポーツの推進による地域活性化
- 学びを支える環境の整備



目標 (KPI)

	基準値	
●市民一人あたり図書貸出冊数	2.2冊	→
●芸術文化に接する機会があった市民の割合	23.0%	→
●週1回以上運動する人の割合	33.3%	→
●自己有用感・挑戦心を持つ生徒の割合の全国平均との差	+3.5% ^(※)	→
●地域に関心のある生徒の割合の全国平均との差	+12.8% ^(※)	→ +10%以上を維持

※全国学力・学習状況調査、基準値は20

目標 (KPI)

各政策（各分野）の目標の実現にどの程度近づいているかを確認するため総合戦略的視点からの指標（数値目標）を設定しています。

施策一覧

施策名	担当部局	
生涯学習の充実	教育委員会	
就学前の教育、保育等の充実	教育委員会	
学校教育の充実	教育委員会	教
歴史文化の活用と伝統文化の継承	教育委員会	文化振興課
スポーツ・レクリエーション活動の推進	教育委員会	社会教育課

成長し続け、輝

施策一覧

各政策（各分野）の目標を達成するための施策展開を示しています。また、各施策の「担当部局」「担当課」を記載しています。

みんなで進めるまちづくり

市民一人ひとりが
できること

- ★学校ボランティアへの参加
- ★図書館や公民館などの積極的な活用
- ★備前市の歴史や遺跡等に関心を持つこと
- ★公民館活動やスポーツイベントなどを通じて、心と体

地域等みんなで
できること

- ★子どもへの声掛けを積極的に行い、地域全体で子
- ★世代間の交流機会を持つような地域での取組

みんなで進める まちづくり

住民とともにまちづくりを進めていくため、各政策（各分野）で「市民一人ひとりができること」「地域等みんなでできること」として、個人や地域に期待したいことを示しています。

2 施策の構成と紙面の見方

関連するSDGsのアイコン

SDGsの17のゴールのうち、各施策の関連するSDGsのアイコンを示しています。

政策1 誰もがいつまでも成長し続け、輝けるまち(教育・文化)

1-2 就学前の教育、保育等の充実



施策の方向性（施策の目標）

施策の方向性 (施策の目標)

各施策が目指すまちの姿を示しています。

ども園（以下、「こども園」という）、保
の小規模保育園、認可外保育施設の
。家庭保育と就園児の両方が等しく
受けられるまちを目指します。また、
。就園児には地域の子育て機関
と密にし、こども園・保育園・小学校
連携により、子どもの発達や学びの
しているまちを目指します。



基本計画



達成したい目標

達成したい目標

目標達成のための取組の成果を確認する指標（数値目標）を設定し、「基準値」と2024年度の「目標値」を示しています。詳細は、資料編P.123以降に記載

指標名	基準値	目標値(2024)
育利用人数	2,168人	1,000人
子ども園への入園率	71.0%	80.0%
保育園・認可外保育への入所人数	16人	40人
が楽しく園に通っていると思う割合	96.6%	100.0%

「輝けるまち（教育・文化）」



目標達成のために解決すべき課題と取組

課題①

待機児童の解消

▷ 保育料の無償化により、0～2歳児の入園希望者が増加した結果、待機児童が発生し、入園したい園に入れない家庭があるため、待機児童解消へ向けた対策が必要です。

取組①

待機児童の解消のための体制整備

▷ 待機児童解消に向けて、保育士の確保、認可外保育施設へ通う保護者への援助、民間の小規模保育所建設や運営への補助等を行い、保育ニーズに応えられる体制の整備を促します。



34

目標達成のために 解決すべき課題

施策の方向性（施策の目標）を達成するために解決しなければならない課題を示しています。

目標達成のための取組

目標達成のために解決すべき課題について、具体的な取組を示しています。また、どの課題についてどのような取組をするかわかるよう課題番号を記載しています。

課題②
保育士・保育教諭の人材確保
▷ 0～2歳児における保育料の無償化により保育需要が増大しているため、受入れに対応できる保育士・保育教諭の確保が必要です。

課題③
支援が必要な園児への対応
▷ 支援が必要な子どもが増えており、保育士配置基準以上の保育士を配置する必要があるため、保育士・保育教諭の人材確保が必要です。

課題④
保護者等からの相談対応
▷ 保護者等からの相談対応については、保育士・保育教諭が複数名、長時間の対応を求められるケースも多いため、保育士・保育教諭のサポートが必要です。

課題⑤
こども園・保育園と小学校との連携
▷ こども園・保育園の5歳児から小学校1年生へ、互いの交流を促進し、子どもたちの成長や学びの状況について円滑な引き継ぎが必要です。

取組②
園職員の人材確保・育成、メンタルケアの強化
▷ 園職員の定年や病気、家庭の事情以外の退職・離職を防止するとともに、相談ケアの実施や業務負担の軽減策などとOJTを通じて、新人・若手職員の育成を進めます。



取組③
こども園・保育園と小学校との連携強化(接続カリキュラムの推進)
▷ 就学前から小学校への滑らかな接続を図るため、保育園とこども園の5歳児「アプローチカリキュラム」、小学校の1年生「スタートカリキュラム」プログラムを推進します。

基本計画
「政策1」誰もがいつまでも成長し続け、輝ける



関連する個別分野計画

計画名	計
第2期備前市子ども・子育て支援事業計画	2020年4月

関連する個別分野計画
各施策に関連する個別分野計画を示しています。

用語	説明
認定こども園	教育と保育を一体的に行う施設。幼稚園と保育所の機能を併せ持つ。
認可外保育施設	国の基準のすべてを満たさないが、県に届出をしている保育施設。自治体の審査なく入園が可能。
OJT	On the Job Trainingの略。職場内で行われる教育訓練。
アプローチカリキュラム	園の5歳児秋から小学校就学に向けての力を育てる教育・保育支援計画。
スタートカリキュラム	園の5歳児秋から小学校就学に向けての力を育てる教育・保育支援計画。

用語説明
専門用語などわかりにくい言葉の説明を掲載しています。